



ファシリテーター(進行役)  
じょりい

2017年度に島しょ地域の大人の皆さまと、合計13回の「しまみらい会議」をご一緒させて頂きました。その時にずっと感じていた「しまの将来を担う子どもたちの声も聴きたい!」という思い。たくさんの皆さまのご協力のおかげで、この場が実現できたことに心から感謝です。驚きそして嬉しかったのは、大人たちが紡いだ島の未来像と子どもたちが希望しているそれと、本質的には何ら変わらないということ。子どもたちもまた、新たにリゾートホテルや商業施設などが欲しいわけではなく、今ある島の自然や暮らしを大切に育みながら、より「質」を高めていきたいんだということが、ビンビン伝わってきました。

地域づくりのお手伝いをする身として、1人の親として、子どもたちの想いをひしひしと受け止めながら、未来につながる「今」を丁寧に創っていきたく思います!



コトバグラフィッカーちょこ

子どもたちの声を描いたちよこです!子どもたちが島のことを思って、考えて、自分たちの生活と結びつけて、どんどん絵にしたり声にしたりしていく姿にとっても心が動かされました。今を見つめた上で、これからもこの島で生きていく者としてのコトバだなと。

『しまみらい会議』の時におききた島の大人の皆さんのほじゅくりゆくり根のように深まる印象だったのに対し、子どもたちは瞬発力と空に伸びゆく木の枝葉のような広がりを感じました。どちらも島を想う幹に通じるものがあるように思います。

奥にあるものと先にあるもの、どちらももっとききたい!子どもたちの世界と大人たちの世界が交わるような場もつくっていきたくと思いました。

## (関連企画) 美ら島海道あしび隊とは??



海での自然体験を通して、生まれ育った島への理解を深め、島への愛着や誇りを高めてもらいたい!と企画された「美ら島海道あしび隊」。10月から3月までに平安座島・浜比嘉島・宮城島・伊計島でそれぞれ1回ずつ&特別コースを2回と、合計6回・延べ80名の隊員に参加して頂きました!

2018年度は日本財団さんの助成金を活用しての開催でしたが、新年度もなんらかの方法で、うるまの子どもたちがもっと地元の自然に親しむ企画を創っていきたく考えています!



主催:ホールアース自然学校(うるま市市場1304-1)  
後援:うるま市・うるま市教育委員会  
(一社)プロモーションうるま  
協力:彩橋小中学校・シーカヤック沖縄カモメのジョナサン  
美ら島海道あしび隊事務局(プロモーションうるま内)  
TEL:098-923-5995 FAX:098-923-5996  
Mail: ashibi@wens.gr.jp

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

2019年  
号外

# しましま通信

こどもしまみらい会議  
やったよ~!!

うるま市の海中道路を渡った先に並ぶ4つの島。

平安座島・浜比嘉島・宮城島・伊計島に生まれ育った子どもたちは、島の未来をどう描いているんだろう。

子どもたちの素の声を聴きたい!と企画されたのが、「こどもしまみらい会議」です。



去る3月5日の放課後、彩橋小の4~6年生・18名が平安座公民館に集合。みんなでワイワイ、島の未来のアイデアを出し合いました!!

LET'S START



まずは、それぞれ「島のここが好き!」というイメージをお絵かきタイム!

海や山といった自然の風景に加え、ハーリーや公民館といった島ならではの素材が、模造紙いっぱい表現されました!そして・・・(中面につづく)



「島にこんなものがあつたらいいな〜っ!」という未来へのリクエストを自由に発表する時間がスタート。子どもたちの声、止まりませんでした〜っ!



おっ、もっと勉強したっていい欲も強いじゃん〜!

もっと勉強したいっていい



遊ぶ 学ぶ 暮らす 自然



子どもたちも今の島のたたずまいやあり方を大切に感じているんだね

